

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年2月4日

所属・職名	基盤教育機構・准教授	氏名	田中信一郎
研究課題	エネルギー政策を補助線とする地域再生政策の研究		
研究キーワード	政策、地域、経済、エネルギー、人口減少	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>① 一般社団法人クラブヴォーバン及び一般社団法人地域政策デザインオフィスとの共同による大都市圏住宅地の課題研究：現地調査及び研究会を開催したが、成果を取りまとめるに至っていない。</p> <p>② 特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所との共同によるエネルギー政策のレビュー：研究会を開催し、取りまとめ内容を次年度の公表に向けて準備中。</p> <p>③ 事例及び文献の収集：人口減少社会を考察するための文献収集を幅広く行うとともに、長野県や島根県、熊本県、上田市、ニセコ町等、各地の自治体と人口減少等について意見交換を行った。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等</p> <p>【著書】『政権交代が必要なのは、総理が嫌いだからじゃないー私たちが、人口減少、経済成熟、気候変動に対応するために』田中信一郎、2020年、現代書館</p> <p>【論文】「地域分散型エネルギーの地域経済効果メカニズム」田中信一郎（単著）『環境と公害』第48巻第4号、61-65頁、2019年、査読無</p> <p>【論文】「経済政策の軸はどこに？アベノミクスを分類・評価」田中信一郎（単著）『情報労連リポート』第423号、13-14頁、2019年、査読無</p> <p>【論文】「ニセコ町環境モデル都市アクションプラン」田中信一郎（単著）『計画行政』第42巻第4号、33-36頁、2019年、査読無</p> <p>【論文】「持続可能な社会のためにSDGsで何をすべきなのか」田中信一郎（単著）『情報労連リポート』第430号、9-11頁、査読無</p> <p>【発表】「Holistic approach to university's ethical decisions」39th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment、2019年5月、Brisbane Convention & Exhibition Centre (Brisbane, Australia)</p> <p>3. 主な経費</p> <p>・人口減少社会を分析するために書籍を購入した他、データ整理等のためパソコン等の機器を購入</p> <p>4. その他の特筆すべき事項</p> <p>・「基礎自治体レベルでの低炭素化政策検討支援ツールの開発と社会実装に関する研究」環境研究総合推進費（課題番号2-1910）研究にアドバイザーとして参画</p> <p>・「立地地域に資する再生可能エネルギー事業を実現する社会的仕組み」ニッセイ財団学際的総合研究助成研究に共同研究者として参画</p> <p>・長野県環境審議会地球温暖化対策専門委員会委員</p> <p>・北海道ニセコ町環境戦略アドバイザー</p>			